

「Educational Challenge 2022」公募要領

1. 目的

学生・院生らの自発的な取り組みを促し、活性化させるために、学生・院生らの教育についての自主的な企画や事業のプロジェクトに対し、予算的な支援をする。

2. 応募条件

- ①教育学部学生・教職大学院生・総合人文系大学院生(長野キャンパス)が中心となって運営するプロジェクトであること。
- ②教育に関係していると判断できる企画・事業であれば、学校教育以外でも構わない。ただし、安全性や社会的、教育的にマイナス面が危惧される点があるプロジェクト、あるいは教員の研究の一環であるプロジェクトは対象外とする。
- ③原則複数名による取り組みであること。
- ④他学部、他大学学生が事業に参加していても差し支えないが、運営主体は教育学部および長野キャンパスの学生・院生であるプロジェクトであること。
- ⑤多くの学生・院生に機会を与える趣旨から、1団体1申請とし、同一団体による重複申請は認めない(同一人物が複数団体に所属し、構成員として申請することは差し支えない)。
- ⑥特に地域と連携した取り組みを推奨する。
- ⑦プロジェクトの活動拠点や主な実施場所を明示すること(県外団体や地域との連携も可)。
- ⑧学部の広報活動に積極的に協力してもらえらること。
- ⑨中間報告および最終成果報告会に対応でき、期限までに最終成果報告書を提出できること。
- ⑩応募団体は、長野キャンパスの教員が顧問にること。顧問は、プロジェクトの課外活動中の安全性確保について責任を負うものではないが、安全性や違法行為などがあった場合は所定の連絡・相談をすること。
- ⑪一般からの参加者が関わる活動を含めたプロジェクトを申請する場合は、一般参加者のイベント保険の加入を必須とすること。

3. 支援期間 令和4年7月中旬～令和5年2月末まで

4. 募集部門

募集は以下の2部門とし、配分上限額は10万円とする(採択件数や査定により申請より減額もある)。

- ①Ongoing project 部門＝これまで既実施していた内容での継続の企画・事業
- ②Challenge project 部門＝新規に挑戦する企画・事業

・Ongoing project 部門については R3 年度までに活動実績があること。

・Challenge project 部門については、活動実績は不要だが、提案を実現できる見通しがあること。

5 選考基準 Ongoing project 部門 1～8, Challenge project 部門 1～7で評価をする

1	学生・院生の自主的、積極的なプロジェクトであるか。
2	教育的な成果が期待できるプロジェクトであるか。
3	魅力的、独創的なプロジェクトであるか。
4	目的、概要、実施計画、実施方法が明確であり、実現可能性があるか。
5	地域との連携が期待できるプロジェクトであるか。
6	必要経費の算定は妥当であるか。
7	安全対策や個人情報対応など、社会的、教育的にマイナス面を生じない配慮があるか。
8	過去の活動実績は十分であり、検証・改善がなされているか。

6. 応募書類及び提出先

- ①公募要領の Web ページより、申請書(様式1)に必要事項を記入する。
- ②必要に応じて添付書類(見積書、カタログ等)を添付する。
- ③必要書類一式を、以下のフォームから提出をする・

<https://forms.gle/3SCknXs5ZvLaneDb7>

7. 応募書類提出期限

令和4年6月13日(月) 17:00

8. 事業の選考及び配分額の決定

- ① 第一次選考(書類審査):申請のあった事業について関係会議で選考する。
- ② 第二次選考(プレゼン):第一次選考合格者に対して関係会議で選考する。
第二次選考の評価結果を基に採択を決定する。

9 成果報告

当該経費の配分を受けた団体は、中間報告(10月)および事業の成果を最終報告会(2月)及び最終報告書により報告するものとする。

10. 選考等の主な日程

令和4年 5月12日(木)	公募開始
6月13日(月)	応募〆切
6月下旬	第一次選考(書類審査)
7月中旬	第二次選考(プレゼン)
	事業の選定及び配分額決定
11月下旬	中間報告書提出
令和5年 2月	最終報告会

3月末

最終報告書提出

11. 連絡先

応募に関するお問い合わせは以下のフォームからお願いします。

<https://forms.gle/EYw3DMJSBTNS7yEh6>